

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3372300537		
法人名	株式会社 雅		
事業所名	グループホーム 青い鳥①		
所在地	備前市吉永町南方652-1		
自己評価作成日	平成25年9月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 高齢者・障害者生活支援センター		
所在地	岡山市北区松尾209-1		
訪問調査日	平成25年9月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>利用者に四季を感じてもらい家族との絆を深めて頂ける様、様々な行事を行い、外気に触れ、他者との触れ合いに力を入れております。入所に対して家族の不安や求めている事、希望等につきり耳を傾け迅速に対応しております。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「家庭の延長」という理念のように、利用者も穏やかな雰囲気職員とも冗談の言える関係で生活されています。また地域や家族等との馴染の関係が保てるよう積極的に声かけしたり、地域の一員として行事や情報交換の場にも参加出来ています。食事は利用者の好みや栄養面を考えて3食とも職員が交代で手作りしています。共用空間の季節感を感じる可愛く明るい雰囲気の飾りつけは印象的でした。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を職員と共有し、利用者が安心して過ごせる介護を行い、『家庭の延長』と理念をしっかりと考え、実践しております。	「家庭の延長」という理念を共有し、その人らしく今までできていたことが出来るように支援しています。9・10月の目標「笑顔であいさつ、対応します」が玄関に掲げられていました。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者が、地域とつながりを持てる様新しくオープンしたパン屋、デイ等、行ったり地域の盆踊り等行事をしっかりと把握し、地域の一員として参加しております。	地域の行事参加や近くに開店したパン屋、サロンに出かけたり、事業所の行事に参加してもらい地域の一員として交流出来ています。ボランティアの方の来訪もあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域との認知症の理解を深めるべく、地域の一員として、清掃に参加したり、情報交換の場に積極的に参加しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設内の現状・家族の要望、意見等、話し合い、情報交換をし、要望等迅速に対応し、サービスの向上に努めています。	2カ月に1回開催して、参加者からの意見や要望を聞いてサービスに活かしています。またイベントも同日開催されると家族の方の参加も多く感想や意見等もより多く聞くことが出来ています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	施設の実情、ケアサービスの取り組み等、運営推進会議等、担当者で連絡を取り合い、協力し情報交換をしております。	報告や空き情報等を窓口の話に行き連携を取っていますが、担当者が異動で変わられるので不便を感じることもありますが協力関係を築くよう取り組んでいます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現状では、利用者の安全の為、玄関に施錠をしておりますが、こまめに話し合いをし、他の解決策を探したり、迅速に対応し、職員全員が理解し、拘束をしないケアに取り組んでおります。	身体拘束をしないケアについての勉強会等をして実践しています。具体的な行為について全職員と話し合い実践に務めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	関連法について、全職員が学び、自宅、施設内で虐待が見過ごされる事が無い様に対応し、介護上の問題点等、家族を含め相談し、防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の問題について、代表者が対応しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族の方の疑問や、「利用者の不安等、しっかり把握、理解し、一つ一つ説明し、理解。納得してもらえよう図っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進委員会議で、家族の意見・要望を聞き、日々の、生活の中で利用者の要望に耳を傾け、迅速、又、的確に対応しております。	なかなか要望等聞くことが出来ないが、小まめな声かけやこちらから提案を出すことで意見等を表せる機会に繋がり、それらを運営に反映させています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度、ミーティングを設け、全スタッフにて話し合いをし、意見・提案等をあげ、向上をはかっております。	ミーティングや日々の業務の中での情報交換をしながら話し合って意見や要望を聞くようにして、運営に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員との話し合い等、個々の実績を把握し、各自向上心を持ち、働ける様、環境等整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務日程等、調整し、研修に参加しやすい状態をつくり、それを共有できるよう努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の介護施設訪問したり、市のグループホーム協会と交流勉強する機会を設けサービスの質の向上に取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人の現状を把握し、本人、家族との面接を通じ、要望、不安等取り除き、本人の安心を確保するべく努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との連絡を密にとり、要望等安心して言える関係を築ける様努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援を見極め、本人、家族の要望を聞きより良い支援をさせて頂く様、サービスの提案も含め対応しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ともに生活する上で、利用者の得意とする事を共有し、共に支えあえる関係性を築いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の情報誌及び、年4回の広報で生活状況報告し、家族との連絡を密にし、面会等にて、本人との絆を深めて頂いております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親族に限らず、知人等面会に来られた際、気軽に面談できるような、環境を作り、関係が薄れないよう、努めております。	面会の方が来られた時や通院時・在宅時に地域の方々に声かけしてもらおう等で、馴染みの関係が途切れないよう支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人でも孤立する事がないよう、職員がきっかけを作り、利用者同士の接点を見つけ、お互いに支えあえるような支援をしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、他の施設への面会等行い、必要に応じて相談等行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の要望にそえるよう、安全に配慮しながら職員で話し合い、出来ることはして頂き、対応等検討しております。	本人の思いや意向を聞いて把握するように努め、表情等で汲み取るのが難しい方は、家族等から聴き本人本位になるよう検討されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族と情報を共有し、一人ひとりの生活歴や環境を把握できるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の生活状況、心身の状態を観察し、現状にあったプランを話し合い立てております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人にとってより良いケアが出来るよう必要な関係者・家族の要望等話し合いを行い、意見・アイデアを反映した計画を作成しております。	担当制を設けて、本人・家族を交えて話し合いを行い、意見やアイデアの中から現状に即した介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子等、細かく記録し、職員で共有し、問題点の見直しし、介護計画に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに迅速に対応し、柔軟な支援を行える様、話し合いをし、サービスの向上に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日々の散歩にて、地域の方との交流等行い、心身の豊かさを向上させ、安全かつ楽しめる様支援しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の要望を聞き、受診しており、かかりつけ医との関係を築き、適切な医療を受けられる様支援し、施設で受診する時、家族の方に報告しております。	かかりつけ医との関係を築き、適切な医療が受けられるよう支援しています。家族の方が対応の受診や月1回協力医院の往診もあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	異常等あった場合、職場内の看護経験者に相談し、かかりつけ医に連絡・相談し、迅速に対応・適切な受診を受けられるよう努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者と情報交換を密にとり、状況により、必要な物など、相談し状況に合わせた対応をしております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態等を早い段階で家族等と話し合い、施設にて、出来る事等説明し、相談等も対応して支援しております。	契約時に事業所で出来ることを説明し、その都度話し合いながら対応しています。現在看取りはしていませんが、看取りの意向を持っておられます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生に備え、初期対応時、迅速に対応できる様訓練し、医療との連携にも努めております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域・関係機関を交え年2回の合同訓練を実施し、施設内でも、こまめに避難訓練をしております。	年2回災害を想定して、避難訓練を行っています。先日挨拶まわりに避難場所に近くのお寺に協力依頼をされたとのことです。	今後とも地域との協力体制を築いて、利用者が安全に避難できる方法を全職員が身につける災害対策に取り組んで下さい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、言葉遣いに気をつけ、プライバシーを損ねないよう個々に合わせた関係作りをしています。	人格を尊重や、言葉使い等に気をつけて、個々に合わせた関係作りができています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションを通じ、本人の希望を取り入れ、自己決定しやすい様努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	極力利用者のペースを大切に、入眠・臥床・入浴等希望に沿って本人の生活リズムを乱さない様支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者が季節によって選択しやすい様、整理をしたり、入浴時に一緒に選んだり工夫し支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑に出来たものを一緒に取りに行ったり、皮むく等下準備等、本人にあった作業をして頂き、楽しくバランスの良い食事が出来る様努めております。	買い物やメニューは職員が順番に考えて、3食手作りで季節の野菜を取り入れ、おいしく、楽しんで食事が出来るよう支援出来ています。下膳等のお手伝いをされている方もおられました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の状態を把握し、量・大きさ・堅さ等、その時その時の状況に合わせて工夫し、残量、水分量等確認しながら、支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨き、義歯の方は、外した後うがいをしてもらい、一人ひとりに合った口腔ケアをし、義歯の方は夜洗浄剤につけております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに合った排泄パターンを把握し、声かけ・誘導等工夫し自立へ向けての支援を行っております。	自立の方もおられるようです、その人その人に合わせた声かけや排泄パターンを把握して排泄の自立支援を行っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品の料理、飲み物を使用したり、運動を行う等予防しておりますが、便秘時は処方薬にてコントロールし、個々に応じた対応を行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日の入浴を楽しんで頂ける様、本人にタイミングを聞いたり、個々にそった支援しております。常に体調の変化に気を付けております。	希望の方には日曜日以外、毎日入浴してもらっていますが、拒否される方は家族と相談し言葉かけ等を考えて、個々にそった支援をしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	季節にそった、室温調整等日々の状況に応じた対応し、一人ひとりの生活習慣に合わせた風の位置など気を付け安心して休息して頂ける様努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の内服薬の目的、副作用等全職員が把握し、日々の症状の変化を確認し、職員同士共有し記録しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	張り合いや、喜びのある日々を過ごして頂ける様一人ひとりに合った役割を持って頂き、気分転換等になる様工夫し支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々、散歩及び季節毎回の戸外への外出等、企画し、季節を感じて頂いたり、家族や職員と買い物に行かれたり、変化のある日常を楽しんで頂けるよう、努めております。	希望者は日々買い物に行ったり、近くにあるお寺に散歩を兼ねてお参りをしたりしています。また行事担当が季節ごとに外出の計画もしています。家族とお墓参りや食事に出かける方もおられるようです。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの方は、預かっております。パン屋さんが来られた際には、一緒に買いに行き、金額など確認し、使える様支援しており、収支はノートに記入し、家族の方に目をとおして頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に手紙等書かれた際、家族の方に見てもらったり、本人が出れる状況なら、電話を変わったり、家族との絆を大切にしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や廊下等、四季を感じていただける様、利用者と一緒に飾り付けしたり、不快にならない様工夫したり、場所も分かりやすくし、音・光共に強くならない様日々確認し対応しております。	共用空間は清潔でさりげなく季節の花や明るく可愛い飾りつけをして生活感や季節感を取り入れて、利用者の方が気持ちよく過ごされるような工夫がしてあります。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の個室もあり、共有スペースでは、利用者同士ソファにて会話されたり、テーブルでも希望を聞いて楽しく会話されたり、自由に移動でき、思い思い過ごせるよう工夫しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境の変化が少なくなるように、慣れた布団や物など、家族と相談し、本人が居心地よく過ごせるよう工夫し、安全に過ごせるよう努めております。	居室は好みや安全性でベットや畳、また季節ごとに家族の方に衣類や布団等の入れ替えをお願いして、本人が居心地よく過ごせるような工夫がしてあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	常に安全に気を付け、一人ひとりに合った生活が送れる様、個々を把握し出来る事を積極的にして頂き、自立した生活になる様工夫しております。		